

条 平 内 征 服 篇

帝キキ時代映畫

原作脚色者 監督者 撮影者 主要役割

桑平内 武藤金彌
 定子弟 津崎兵庫
 水野十郎左衛門 水野十郎左衛門
 幡隨院長兵衛 幡隨院長兵衛
 三輪屋お里(仇吉) 藤十郎妻 定子
 長兵衛女房 お文
 龜静仲居
 狼の助五郎 唐大權兵衛
 出 尻清兵衛
 劍客 坂田藤十郎
 近藤登之助
 赤城無敵齋
 本庄傳之進
 兼松文四郎
 舞妓 玉菊
 阿部三九郎
 お里の父 清六
 仲 問
 長兵衛乾分 金助
 同 恭三
 同 功太郎
 阪上由右衛門
 大江源三郎
 舞妓 露笑
 柳 春子
 解説 矢内政治氏が「巡禮殺し」に次いで製
 作した「桑の平内」第二篇である。この平内が最初に出
 略筋——江戸の地を踏んだ桑の平内が最初に出
 逢した嫌な者は白柄組と稱する旗本達であつた。
 不圖したところから柳生流道場主阪田藤十郎と
 懇になつた平内は藤十郎のために、白柄組を後
 ろ倒する傲慢な東軍流道場主赤城無敵齋を懲
 らしたが、歸途白柄組水野十郎左衛門等に襲は
 れた時、幡隨院長兵衛と相識つた。長兵衛は平
 内のため道場を建てたが、その道場開きの日、
 水野は津崎兵庫といふ武藝者を連れて試合を申
 し込んだ。平内は兵庫が、藤十郎の妻定子の弟
 武藤金彌の仇であるを聞いて、わざと預けて二
 度の機会を作らんとした。平内には故郷に未來
 を約した三輪屋お里があつたが、平内を慕つて
 江戸に來り仇吉と名乗つて左様をさつてゐた。
 水野は、平内が死んだと偽り仇吉を己が意に従
 はせやうとして長兵衛に救はれた。やがて平内
 はお里と新しい家庭を作つたが、金彌の腕を磨
 くため席の温る暇も無かつた。水野は公衆の
 面前で平内に恥をかきさんと、彌生を聞かぬ
 て兵庫との試合を申込んだが平内は美事兵庫を
 打負かして白柄組の鼻を明かした上、金彌の差
 添さしてその場で仇を討たせた。その折、長兵
 衛は一同の喜びを後に、白柄組の奸計を知りつ
 づ水野の邸へ死に行くのであつた。

高井清太郎
 矢内政治
 古 林 潤
 明石緑郎
 尾上多見右衛門
 片桐恒男
 阪東豊昇
 嵐 枝 徳
 松崎香子
 千草静子
 尾崎静子
 大野三郎
 喜多見順平
 中村龍一
 尾上松三郎
 金井龍三郎
 日ノ本一男
 清水仙三郎
 和 田 之 輔
 市川安之輔
 市川清之輔
 市川十郎
 嵐 廣 二
 堀 隆 二
 松 山 昇
 明井晃三郎
 片岡紅三郎
 酒川豊次郎
 柳 春子